

働き盛りの健康づくり支援事業「事業所まるごと健康宣言」 優良取組事業所表彰式（第2回）

平成30年9月末までに健康宣言した178事業所の中で、事業所ぐるみで健康づくりに関する活動に積極的に取り組んだ事業所のうち、特に優れた取組みを行った9事業所に対して、平成31年3月12日に香川県庁本館21階特別会議室において、知事及び協会けんぽ香川支部長から表彰を行いました。



受賞事業所



表彰式の様子



受賞者代表挨拶

受賞事業所の評価された取組み

知 事 賞

三和建鐵株式会社（丸亀市）

【取組内容】

- ・建物内禁煙を実施し、来所者にも理解を求めるなど、喫煙・受動喫煙防止に取り組む。
- ・従業員全員に歩数等を測定する活動量計を配布し、歩数の目標設置と達成率の把握により運動習慣の定着を促す。
- ・社長宅の畑で野菜を栽培し、収穫した野菜を従業員に配布することにより野菜摂取量の増加を促す。

野菜の栽培で社員の食生活を改善

少ない社員のなか、一人でも病気などでダウンしてしまうと、会社が回らなくなる。そこで、約3年前に「事業所まるごと健康宣言」を行った。現在、社長宅の土地をつかって、畑を耕し、野菜を栽培している。きっかけは、県が発する「1日3食 まず野菜！」のポスター。これを見た片岡浩昌社長は、「野菜をもっと摂らないといけない」と、畑での野菜収穫を思いついた。社長が率先して、野菜の世話をやっており、収穫できた野菜は社員に配っている。

社員は配られた野菜をその日の夕食や昼食のお弁当で活用している。「野菜を配られるようになり、野菜摂取に対して意識するようになった」と社員も話している。また、野菜栽培の取組みを行うようになってから、近所の農家さんや社員OBから野菜や種、苗などをたくさんもらうようになり、人とのつながりが広がるなどの効果もあるという。他にも運動の取組みとして、社員全員に歩数等を測定する活動量計を配付し、1日1万歩を目標に、毎日の歩数と目標の達成率を出している。活動量計を配付されてからは、歩数を意識するようになり、1日の歩数が少ないと、追加で歩いたり、少し遠回りして帰る者もいて、歩くことが定着してきている。

健康づくりの取組みにより、社員一人ひとりの健康に対する意識が高まり、この2年間には大きな病気もなく業務をこなすなどの効果が出ている。



社長宅で野菜を栽培している畑

株式会社橘一吉工務店（高松市）

【取組内容】

- ・社内規程に産休・育休、妊娠中の母子健康管理の措置について明文化するとともに、女性特有のがん検診を2年ごとに事業所負担で実施するなど、女性従業員の職場環境整備を行う。
- ・建物内完全分煙を実施し、禁煙啓発ポスター等の掲示や出前講座の受講など、喫煙・受動喫煙防止に取り組む。

女性が働きやすい職場環境の整備

「出産後も働き続けたい」。そんな女性社員からの要望もあり、4年ほど前から、社長の提案で女性社員の働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。

社内規程には、産休・育休、妊娠中の母子健康管理の措置について明文化し、女性が休みを取りづらかった環境を改善し、業務上での配慮も行うようにした。実際、現在妊娠中の社員に対しても妊婦健診や体調不良で休む際には、会社が配慮してくれているという。また、以前育休を取得した社員は「復帰時にはかなり不安があったが、会社に相談したところ、自分のペースで復帰すればよいと言われ、とても復帰しやすかった」と話す。

さらに、女性社員には定期健康診断に加え、女性特有のがん検診を2年ごとに会社負担で実施している。

会社全体の取組みとしては、健康づくりのために「体重測定をする」「野菜を食べる」などの取組みを担当者が毎月3項目決め、社員は退社する際に、その決められた取組みに対してチェックをしている。簡単な取組みではあるが、社員も徐々に健康への意識が高まっており、体重を気にする者は、休日にサイクリングをするなど、行動の変化もみられるという。

人数が少ない会社だからこそ、社員みんなの意見が聞きやすく、取組みにも反映しやすい。女性の健康等に関する理解促進については、今後、研修やセミナーを通して、男性社員への理解を深めていくつもりだ。



笑顔で仕事をしている女性社員

緑造園興業株式会社（高松市）

【取組内容】

- ・ クロスカントリー大会に参加し、従業員全員が役割を担うことで、従業員間のコミュニケーションを促す。
- ・ 勤務時間内の通院や作業内容の配慮を行うなど、病気の治療と仕事を両立できる職場環境の整備を行う。
- ・ インフルエンザ予防接種を事業所負担で勤務時間内に実施するほか、事業所内にマスクやウイルス除去製品を設置し、感染防止に努めている。

「造ろう 健康な体 健康な職場」をスローガンに

全員が参加」をスローガンにアットホームな職場を目指していると話すのは植原成典社長。

これまで、6時間リレーマラソンへの参加や社員が全員参加できるソフトボール大会等イベントを企画し、10年ほど前から運動をはじめとした健康づくりに取り組んでいる。平成29年12月に出場したクロスカントリー大会では、社員全員が参加できるよう選手以外もタイム計測などの役割を分担した。大会前には、終業後毎日のように声を掛け合いながら練習を行い、当日は、会社から支給された揃いのユニフォームや靴などを着用し、競技や応援をすることで、社員間に一体感が生まれた。大会後も、しばらくクロスカントリーが共通の話題となり、社員間のコミュニケーションの活性化や仕事へのモチベーションアップにもつながり業務効率も向上した。健康宣言から約1年、以前は受診率が低かった健診の再検査も、現在は該当者全員が受けるようになり、病欠者が少なくなっている。

更に会社として勤務時間内の通院を容認したり、作業内容を配慮したりと、病気の治療と仕事を両立できる職場環境の整備も行っている。

社員一人ひとりが健康目標を掲げて取り組むことで社員の健康意識が高まり、運動や食事に気を配るようになり、禁煙や運動のきっかけになるなど、本人だけでなく、会社や家族も喜ぶ効果が出ている。



クロスカントリー大会で走っている社員

協会けんぽ香川支部長賞

株式会社建設マネジメント四国（高松市）

- ・ 事業所をあげて参加者を募ってマラソン大会に参加し、運動機会の創出とコミュニケーションの促進に取り組む。

株式会社四国電子計算センター（高松市）

- ・ 従業員全員が繰越年次有給休暇を完全消化できるよう、達成率を管理して定期的に声かけを行い、ワークライフバランスの維持・改善に取り組む。

有限会社大和タクシー（坂出市）

- ・ 定期的な通院が必要な従業員を雇用するにあたり、社内制度の整備を行ったことで、病気の治療と仕事の両立を支援した。

株式会社西日本道路興業（高松市）

- ・ 建物内禁煙施設の認定を受け、認定証やポスターを掲示するとともに、啓発資料を配布してたばこによる健康への影響について啓発を行うなど、禁煙・受動喫煙対策に取り組み、従業員全員が禁煙をした。

医療法人みどり会（多度津町）

- ・ 敷地内で従業員が野菜を栽培し、収穫後、サラダバーの日に従業員食堂で提供するほか、食堂に野菜レシピを掲示し、週1回料理教室を開催することで従業員の食生活改善に取り組む。

株式会社ラブ・ラボ（高松市）

- ・ 職場でランニングチームを結成し、リレーマラソン大会への参加や、毎週1回合同練習を実施するなど、運動機会の創出とコミュニケーションの促進に取り組む。